



『語りつぐ東京下町労働運動史』
旬報社、二〇〇四年
小畑精武 著

東京下町

機会があつたら東京で総武線に乗って車窓に目を凝らしてほしい。浅草橋を過ぎると電車が川をわたるたびに風景が変わる。本書の口絵の地図にある三角形の「東京下町」。この地域で長年地域労働運動を担ってきた（自治労本部書記局にいたこともある）著者が、下町地域労働運動史を、江戸末、明治、大正、戦前にわ



グラビア	地域を支える人 杉若公紀さん 若林昭宏さん・和歌山県	1
発掘！地域の希望のタネ	〈HIOKIオリーブオイル〉 鹿児島県日置市	5
給食のじかん	〈鯨肉の竜田揚げ〉 和歌山県和歌山市	中村由貴 6
書評	小畑精武 著『語りつぐ東京下町労働運動史』	菅原敏夫 8
焦点	居住支援の現場から見えてくること —住宅セーフティネット法の改正を受けて	大嶽貴恵 10

特集 持続可能な福祉と医療をめざして

	医療・介護を取り巻く現状とトリプル改定の概要	長谷明弘 18
	“崖っぷち”の訪問介護事業所—2024年度改定がもたらすもの	小島美里 28
	2024年度障害報酬改定の問題と影響—現場からの報告	赤松英知 36
	深刻化するジェネリック医薬品不足—相次ぐ不祥事と薬価制度の課題	藤谷和広 44
	介護の2040年問題にどう備えるのか	越 究人 51
あの時、私の職場では	保健師として保健所ヘルプ、ワクチン集団接種、日ごころからの健康づくりがすべての基礎になると再認識	大賀陽世 57
地域おこし協力隊が行く!	第15回 島根編⑨松江市 10年かかる覚悟で「ジビエ利活用」と「鳥獣被害対策」を事業化	森脇香奈江 62
結びつなげる!しまね自治研	「自治労島根県本部青年部」の取り組み紹介～島根県本部青年部と女性部の合同による「自治研活動学習会」の開催～	佐川寛明 68
自治研活動レポート	「自治研活動活性化会議」による討議からスタート—東京都本部	西岡芳宏 70
	自治体の機関誌案内	16
	次号予告・編集部から	72

たつて、詳細に紡いだ。『下町タイムズ』に連載。

地域の歴史のはずだったが、できあがったのは日本の労働運動史、革命運動史になってしまった。なぜなら日本最初のストライキ、最初の労働組合、人力車の車会党、団結権の行使、労働協約などがこの地域で生まれたのだから。日本最初のメーデーは桜の名所隅田川堤の日本労働者大懇親会かも。片山潜が方針提起。

オルグ

著者は職業オルガナイザー。活動の傍ら驚くほどの資料を渉猟していたことがわかる。本人の努力だろうが、運も味方した。「私は現役時代出張が多く、土地の古本屋に行くことが楽しみだった。四国松山で見つけたのが『山内みな自伝』。山内は東京モスリン^{あづま}吾孀工場の女工。一九一四年六月にストライキ、友愛会のオルグに。伝説のオルガナイザー。見つけ

られない本ではなかったかもしれないが、本書の輝きに。

著者は、歴史を知ることが過去との対話、課題、反省を知ることだという。下町労働運動に学ぶ。ILO一号条約（一九一九年八時間労働）さえ未批准。亀戸事件（関東大震災）で殺された朝鮮人、石川島造船所洲崎宿舎で空襲で死んだ朝鮮人徴用工。
最初に著者の名前を聞いたのは江戸川地区労オルグの時。この次は地区労という活動家の拠点の盛衰を聞きたい。

南葛労働者

本書を読み終えて、昔、著者と「南葛労働者の歌」を一緒に歌ったのを思い出した。
本書五二ページの市川房「江」は「枝」。東京モスリン・山内みな、ILOを巡って大事な人。

評者 菅原敏夫 本誌編集委員